



枚方市議会議員 みんなの党
みなかみのとう

池上のりこの 市政報告NEWS

池上典子のホームページ

<事務局>枚方市楠葉中町35-16

<TEL/FAX> 072-856-2901

<枚方市役所> TEL.072-841-1221 (代表)

携帯用QRコード



<http://www.ikegami-noriko.jp> (いけがみーのりこ.jp)

この市政報告は、市政調査の為に発行しています。皆様から頂くメール、お手紙等はパブリックコメントとして議会活動に生かしていきますので、ご意見をお待ちしています。

街路樹の木々も冬の装いになり、今年も終わりに近づいています。
みなさん、お元気ですか。

今回は、決算委員会のご報告とともに、自分自身の議員としてのご報告も申し上げなければなりません。

私は15年前、北河内7市で初めて「無所属・市民派」の議員として、枚方市議会に送って頂きました。まだ、社会党、新進党のあった時代です。

常に「生活者の視点」を持ち、「文句を言いながらでも税金を払っている無党派層の代弁者」であることを心に刻み、それを誇りに思い、これまでの議員活動を行ってきました。

私の中で「政党」とは、イデオロギーでは激しく対立しながら、「あれもします、これもやりました」と大きな声で「あればうれしい程度の事業」に競って税金をばらまき、票に変えていく不思議な組織であったのです。

それが、昨年の8月の衆議院選挙の中で、改革政党「みんなの党」を見、今年の参議院選挙の中で「**増税の前にやるべきことがある!**」と、こぶしあげる渡辺さんの姿に新鮮な感動を覚えたのです。

私自身も、きっと自分は議員バッヂを外すまで「無所属」のままでいるだろうと思っていましたが、破綻に瀕した健康保険制度、年金制度も含め市民のセーフティネットにかかる部分が大きく揺らいできている現状の中で、現場から国へ市民の声を伝える役目を担お

うと決心し、みんなの党への合流を決めました。

みなさんも感じておられると思いますが、政治も制度も**「変えたくない人は、人数は少なくても声と力は大きいのです。」**しかし、今の国・地方の現状を考えれば、一刻でも早く既得権益の連鎖を断ち切り、持続可能な制度を構築しなければすべての制度が崩壊してしまいます。

統一地方選挙を半年に控え、リスクについては重々承知の上で「戦う」組織に参入しました。…とは言っても、私のボスは「市民」だけ。市民の暮らしを守るためにというのが一番の理由で自然体なのですが。

9月議会、決算委員会とあわただしく、新聞報道などで取り上げられてから少し時間がたつてしましましたことをお詫びいたします。



[池上のりこプロフィール]

生年月日	: 1953年 1月5日生 (B型RH+)
経歴	: 1971年 岡山県立津山高校卒業 : 1975年 日本大学法学部卒業 : 1995年 枚方市議会議員 初当選 : 2007年 枚方市議会議員 4期目
家族	: 夫、3人の子供
大きさ	: 身長/163センチ、体重/?
ニックネーム	: 「がみちゃん♪」

平成21年度 決算委員会

概要版

池上の質問日 10月12日、20日



平成21年度の枚方市の決算は、単年度収支については黒字で締めくくることができましたが、リーマンショック以降の厳しい社会・経済情勢を受けて、市税総額では約30億円の減収になり生活保護費を中心とする扶助費が増加し、財政は依然として厳しい状況にあります。

*決算委員会は定例議会とは異なり、議場ではなく委員会室で行われます。行政側からは課長以上の管理職が答弁者として出席し、一問一答形式で質疑を行います。

*厳しい質疑になっても、お互い丁寧な言葉を使いますが、紙面の都合で言い切りがたの部分もあります。

1 自動販売機の設置使用料収入について

池上は平成20年的一般質問の中で、市の公共施設に設置している多くの自動販売機がどのような契約で設置されているのかを尋ねました。

色々な契約形態があったのですが、設置している業者からの手数料がほとんど市へは入っておらず、その契約内容の把握もされていない状況でした。

市の施設、土地は一坪に至るまで市民のものです。そこから生じる果実、利益も当然市民に帰すべきで、自動販売機の設置状況、契約の調査を求め、「収入を市に入れるべきだ！」と指摘しました。



池上

平成21年度決算で、枚方市の公共施設に設置している自動販売機の設置台数と、市に入った使用料収入を尋ねる。

管財課長

それぞれの施設の合計で**80台**。市に入った使用料収入は、平成21年度の総額では**2412万8583円**になる。

*何もしなければ、何も言わなければそのままになっていた約2400万円です。

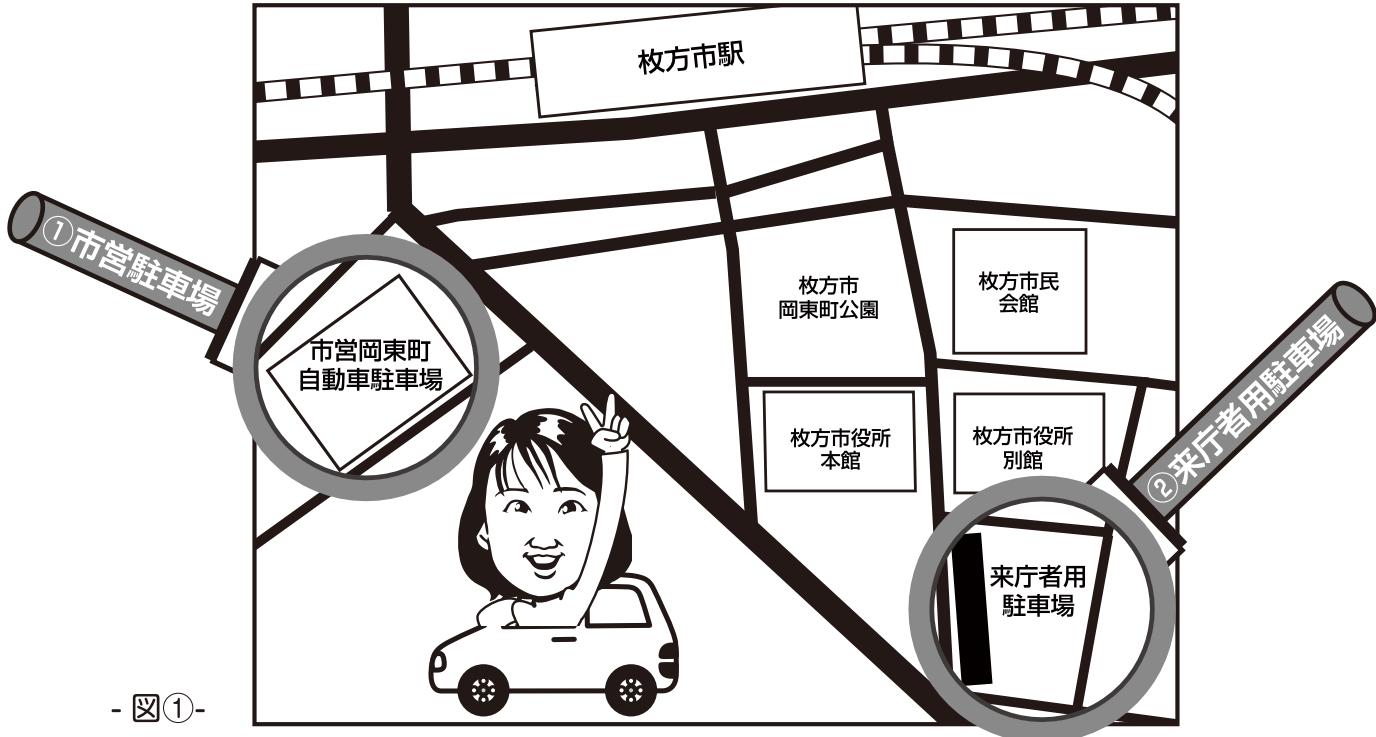
そして、まだ、自動販売機の**19台分**の使用料が市に入っています。来年の契約更新に合わせて、これも市の収入になっていきます。すべて合わせれば、**99台分で3000万円**近い収入が毎年入ってくるはずです。

*担当課がはっきりせず、そのままになっているものについては、議員がきちんとした調査をし、指摘することによって一気に解決することができます。今回の件でも担当部署になってくれた管財課がガッカリ、府内合意、関係者の合意を取り付け平成21年度から市の収入として上げることができました。



2 来庁者駐車場について

枚方市役所の本庁には、隣接した来庁者用の自動車駐車場が**72台分**あり、現在は無料で利用者の方に提供しています。



- 図① -

① その駐車場にかかった平成21年度の主な費用と内訳。

- ・ 土地借り上げ料 1595万3472円
- ・ 入・出庫車の誘導・案内及び整理等の警備委託料 759万9540円
- ・ 設備機器の保守点検委託料 81万7800円

合計 2437万812円

72台分の駐車場にかかった費用が、年間約2500万円です。

単純計算で1台分あたりの年間経費は約34万7000円

1ヶ月で1台分にかかる経費が2万9000円になっています。

② 市営駐車場

枚方市は、市役所から徒歩2~3分の所に、243台収容できる市営駐車場（岡東町自動車駐車場）を持っています。<図①参照>

この駐車場の料金は

- 一時利用は30分ごとに100円
 - 1か月の定期料金 平日のみ1万円、全日では1万5000円
- そして、この駐車場が満杯というわけでもない。

「歩いて2~3分しか離れていない自分の駐車場を1か月
1万5000円で人に貸し、2万9000円の経費をか
けて駐車場を確保する。」・・・非常に違和感を感じる。



③ 駐車場の借地料

池上

借地料の約1600万円について、価格設定、交渉等は行っているのか。

総務管理課長

借地料の決定にあたっては、価格の公正性・適正性を図るために、本市の不動産運営委員会に諮り上限の価格を決定する。その上で、地権者とはその価格をもとに毎年、価格交渉を行っている。

④ 来庁舎駐車場の利用状況

- 21年度は、年間延べ**17万252台**が利用
- 1日平均**470台**
- 1時間未満の利用が全体の**85%**



⑤ 方向性

- 近隣に市営・民間の駐車場が多くある。
- それらの駐車場が昼間に満杯の状況ではない。
- 駅前の市役所というめったにない立地で交通の便が良い。
- バス、電車で運賃を支払って来られる方との公平性。
- 枚方市で掲げている環境負荷の観点からも公共交通機関の利用促進。
- 現在でも障害のある方については別枠の駐車場がある。

とりあえず…有料化？



年間約17万台が利用しているということなので、周囲の市営・民間駐車場並みに、30分で100円程度の料金を頂ければ、ある程度の経費が出そうです。

もし有料化ということならば、金額、時間設定等も含め来年度の実施に向け議論が必要です。

それとも…廃止？

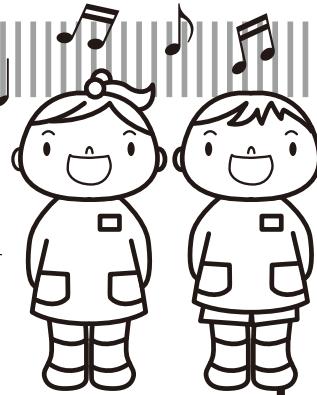
9月に開かれた枚方市の事業仕分けですが、「追悼式」「成人式」等、なぜこの事業が?と思うものも多く、このような案件こそ挙げてほしかったと考えるのですが、みなさんが「仕分け人」であれば、「継続」「有料化」「廃止」のどれを選ばれるでしょう。

3 枚方市立幼稚園の方向性について

① 平成21年度の決算ベース

■枚方市立幼稚園（11園）

- 定員：1400人
- 園児数：**947人**（4歳児・5歳児）
- 就園率：**67.6%**
- 平成21年度の経費総額（歳出から歳入を引いたもの）
総額：**4億4029万2688円**
園児一人当たり：**46万4935円**



■私立幼稚園（19園）



- 定員：7010人
- 園児数：**5611人**（市外含む）
- 就園率：**80%**
- 平成21年度の経費総額（歳出から歳入を引いたもの）
総額：**4億7601万5900円**
園児一人当たり：**7万9949円**

市の経費を考えてみると、市立と私立では園児一人当たりの1年間に要した経費が約**46万円**対約**8万円**という大きな差になっています。

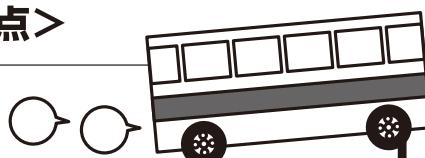
その上、**保護者負担**でも入園料・保育料共に私立幼稚園のほうが総じて高いにもかかわらず、私立幼稚園のほうが就園率（保護者ニーズ）が高いとい

う不思議な結果になっています。

市立幼稚園にも行かせていただいて、当然のことながら園長先生をはじめとして現場の先生たちが頑張っておられ、園庭解放事業等の細やかな努力をされている状況も知っています。保護者の方から「効率だけではないはずだ」との声もお聞きします。

<市立幼稚園と私立幼稚園の主な相違点>

- バスの送り迎えがない（市立）
- 給食がない（市立）
- 4歳児からしか受け入れない。（私立は3歳児からも）
- 終園時間が早い（市立）



等もあり、これらをどのように考えていくのか、検討する必要があります。

「**定員の35%しか園児がない**」という市立幼稚園もあります。



枚方市の幼稚園教諭は多くの方が「保育士」の資格をお持ちです。公立幼稚園については統廃合のみではなく、子ども園、幼保一元化等多様な制度も視野に要れ、「幼稚園」=教育委員会、「保育所」=福祉という図式から離れ、未就園児（0歳から5歳）を対象とした統合的な部署を作り、まずは行政責任として保育所の待機児童の解消に向けて早急な取り組みが必要です。

4 職員の選挙従事手当について

昨年8月に行われた衆議院議員選挙の経費が、平成21年度決算として挙がってきます。

この選挙では、選挙事務に従事する枚方市職員に、**時間給で約2500円、総額で約3000万円**の時間外勤務手当が支給されています。

しかし、この手当支給については、条例にその根拠がなく、「いかなる給与その他の給付も法律または条例に基づかずには職員に支給してはならな

い」とする、**地方自治法第204条の2に反し、脱法行為**の疑いがあります。

来年4月の統一地方選挙を控え、実務的な課題を整理し一刻も早い是正が必要だと考えます。



5 職員の健康保険組合について

(大阪府市町村職員健康保険組合)

この健康保険組合は、3年前に解散となった**「職員互助会」**（大阪府市町村職員互助会）と同じく、大阪府下の市町村の職員全てが加入し、他の都道府県では見られない大規模で大阪府独自の制度です。

地方公務員の健康保険は、法律では原則として職員と事業主（枚方市）のそれぞれが**5割負担**となっています。民間企業や**大阪府の職員**も5割負担です。

しかし、地方公務員共済組合法が制定された昭和37年以前に設立された健康保険組合は、特例としてその存続が認められ、「大阪府市町村職員健康保険組合」は、その時点で共済組合に移行せず、現在に至っています。

私がこの問題に取り組み始めた当時は、職員と枚方市負担が1対2となっており、法の1対1と比較すると**約3億円**も市の負担が多かったのです。

その後、

職員互助会については「**やみ退職金**」等でマスコミにも取り上げられ、

司法の場で厳しい判決が相次ぎ3年前に解散となりました。

健康保険組合も平成18年度にそれまでの1対2から1対1.46へ、19年度に1対1.29へ、20年度に1対1.06に、**21年度では1対1.025へ**と少しづつ、

法の1対1に近づきつつあります。

平成21年度では、枚方市の負担金は**9億2703万3555円**で、1対1とした場合と比較すればその差は**約1038万円**になります。

以前の5億円に比べればその差額分は一桁減りましたが、最後の最後まで死守しようとする姿勢に違和感を覚えます。約1000万円のお金は市にとって大きな金額ですが、約2000人の職員一人にすれば1ヶ月で数百円

ぐらいです。

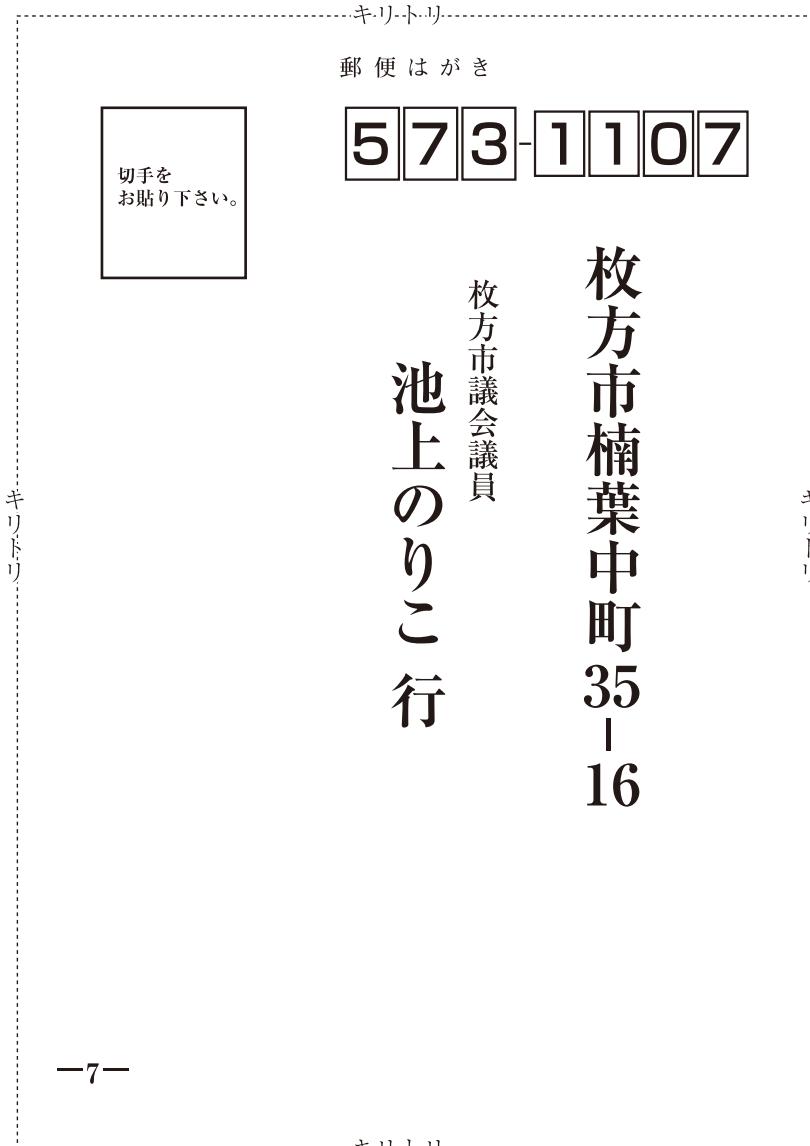
1ヶ月数百円のお金を「**何が何でも税金から！！**」と考える枚方市職員は少ないよう感じますが……。

ともあれ、長い戦いでしたが**平成22年12月1日**をもって、大阪府市町村職員健康保険組合は解散し、以降は職員と枚方市で**1対1負担**がようやく実現します。

市民合意の得られにくい様々な既得権をきれいさっぱり整理し、「持続可能な労働条件の整備」こそが、若い職員の士気を高めると思うのですが……。

■職員の健康保険で、平成20年度にもう1点指摘したのは、枚方市の職員が病院等の医療を受けた場合の、本人に対する「**医療費通知**」がなかったことです。(国民健康保険、その他の健康保険でも医療費通知は必ずあります)

本人に対する「医療費通知」については、**不適切な保険診療請求を発見し、また抑止する**意味でも是非必要だと求めましたが、この件に関しては**平成21年の6月から実施**を始め、新たな制度のもとでも引き続き実施していくとの担当課からの答弁がありました。



いつも沢山のパブリックコメント、ご提言をありがとうございます。同じ事業に対してでもお立場の違いで色々な視点があり、自分自身の考え方を深め、また、議会質問にも取り上げさせていただいております。

市政報告配布は1回に約50万円の経費が掛かり、年2~3回程度、約4万世帯(市内約16万世帯)が現状

では手一杯の状況ですが、お申し出を頂いた皆様については郵送で対応している状況です。インターネット環境がない方も多くおられますので、当分は現状を維持していきたいと考えています。

なお、毎週火曜日の午後6時頃からは楠葉の事務所におりますが、急用等で不在の場合もありますので、ご連絡の上お越しください。

※ご意見(パブリック・コメント)をお寄せください。

パブリックコメント(ご意見)



(フリガナ)	
お名前	年齢 歳
ご住所	〒



編集後記

伏見たかし議員、高橋しんすけ議員と無所属の3人で7年間続けた「改革市民会議」ですが、9月に改革政党「みんなの党」に合流し、党としては西日本初となる交渉会派「みんなの党市民会議」を立ち上げました。

3人それぞれが厳しい選択になりましたが、「閉塞状況にある政治の突破口になる!」との強い思いで今回の決断をいたしました。

今までエールを頂いた皆様に感謝し、今後は国も含め改革による「持続可能な社会、制度の構築」に向けてガンバリマス。